

2019（令和元）年度 フィールドネット・ラウンジ企画公募要項 【追加募集】

2019年8月2日

Fieldnet は、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）が運営している、海外諸地域を調査フィールドとする研究者のための研究情報交換ネットワークです。文系・理系を問わずさまざまな分野の研究者 600 名以上が登録しています。

Fieldnet ではオフラインの活動として、以下の通り、フィールドネット・ラウンジの企画を公募いたします。この公募は、次世代の研究者がシンポジウムやワークショップ等の研究会企画を積極的に実施し、研究者間ネットワークを広げるための一助となることを目的としています。先日、募集を締め切りましたが、枠に余裕がありますので、追加募集いたします。若手研究者による学際的な企画をお待ちしております。

■応募資格

博士課程後期の大学院生、各種研究員、助教など次世代の研究者で、AA 研の Fieldnet のメンバー（登録者）の方は、どなたでも企画責任者となって応募することができます。

Fieldnet に登録がお済みでない方は、事前に登録を済ませてからご応募ください。研究者の方であれば、どなたでも無料で登録できます。詳細は Fieldnet の WEB サイトをご覧ください。 <http://fieldnet.aa-ken.jp/>

■公募内容

研究会企画 2 件程度（30 万円程度を上限とする）

人類学、言語学、地域研究、歴史学、生態学、医学、生物学、農学をはじめとする諸学問分野に関連する研究会企画実施のための旅費などを支援します（使用できる経費に関しては要項末の「注意事項」参照）。海外で行ったフィールドワークにより得られた知見や、フィールドワークの手法に関する企画を歓迎します。特に、学際的な企画を期待します。

■応募企画の条件

1. 企画は 2019 年 12 月から 2020 年 2 月までに実施してください。
2. 大学・研究機関に所属する研究者をアドバイザーとして企画に加えてください（企画参加者を兼ねてもよい）。アドバイザーには、申請書の作成や、会計をはじめとした事務運営についての適切な指導と助言を期待します。
3. AA 研を会場として実施することが望ましいですが、相応の理由があれば、首都圏以外に所在する企画責任者もしくはアドバイザーの所属機関で開催できます。その場合、企画書にその理由を明記してください。
4. 企画の実施と成果出版にあたっては、AA 研の「フィールドネット・ラウンジ」による

ものである旨を明示してください。

5. 企画については公開とし、事前に学会メーリングリストを通じて広報するなど、幅広い多数の参加者が集まるように努めてください。
6. 企画実施後、企画の狙いと成果、今後の課題や活動計画を 2000 字以上で記した報告を所定の書式に則って作成し、Fieldnet 事務局に提出していただきます。

■応募方法

下記の所定事項を記入した応募申請書を E-mail で送付してください。特に書式は設けません。

■応募申請書に記載が必要な所定事項

1. 企画名
2. 企画責任者氏名・所属身分等
3. 企画責任者連絡先（住所、電話、E-mail アドレス）
4. 企画の概要（1200 字以内）
5. 開催予定日時・場所
6. Fieldnet による支援を希望する経費（旅費とそれ以外の費目別に、おおむね企画責任者あるいはアドバイザーの所属する機関の基準で計算し、経費内訳と概算額を明示してください。旅費については支給対象者数と発着地を記入してください。採択決定後、詳細については Fieldnet 事務局とご相談いただきます。）
7. 企画参加者とそれぞれの役割を示す一覧（Fieldnet のメンバーに○印をつけてください。アドバイザーについては、連絡先 E-mail アドレスも併記してください。）
8. 共催・後援・協賛等となる AA 研以外の組織があれば、その名前と負担内容
9. 企画の実施によって期待される効果（400 字程度）

■申し込み先

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイエンス研究企画センター
内 Fieldnet 事務局

E-mail: fieldnet@tufs.ac.jp

■締め切り

2019 年 9 月 29 日（日）必着

■結果通知

応募書類の厳正な審査の上、企画責任者に採否を連絡します（10 月中旬を予定）。採択の場合、必要な事務連絡はあらためて Fieldnet 事務局から行います。なお、採否についての

問い合わせは受けつけません。

■注意事項

1. 経費については以下の点にご留意ください。
 - ・ 支出できる費目は、旅費、ポスター・チラシ制作費、会場費（AA 研以外での開催時に必要な場合）です。
 - ・ 旅費には往復の交通費と日当・宿泊料が含まれます。また、AA 研以外で開催の場合には、参加する AA 研所員 1 名分の旅費を見込んでください。
 - ・ 謝金や飲食費には支出できませんので、経費には含めないでください。
 - ・ 交通費と日当・宿泊料は、東京外国語大学の規定の範囲内で支給しますが、応募申請時には企画責任者あるいはアドバイザーの所属する機関の基準に則って積算してください。
 - ・ 支払いは、所定の手続を早めに行っていただいた場合でも、実施日の直前となります。宿泊の予約をする際に予約金が必要な場合は、アドバイザーに立替払いを頼んでください。
2. 採択の場合には、企画実施の 1 ヶ月前までに会計支出のための書類を提出していただきます。この書類の作成にあたっては、Fieldnet 事務局の指示にしたがってください。なお、同事務局への会計支出のための書類の提出がおくれた場合、企画を実施できないことがあります。また、応募時とくらべて企画の内容が著しく変更されていたり、経費が著しく増額されていたりするような場合には、採択後でも採用を取り消すことがあります。
3. 公募の公平性を保つため、AA 研の教員をアドバイザーにすることはできません。
4. 企画実施後に提出された報告は、Fieldnet の WEB サイトにおいて公開されます。

(参考) 過去 3 年度に実施された企画

2018 年度

ワークショップ「西アフリカ・イスラーム研究の新展開」(企画責任者：中尾世治) 2019 年 1 月 26 日実施

ワークショップ「共同研究のすすめ：ブラジル地域研究における Cross-region × Collaboration の実践を通じて」(企画責任者：新川匠郎) 2019 年 2 月 16 日実施

2017 年度

セミナー「草の根から地域住民が生み出す「食」と「農」の空間：どうやって見つけ、調べるか？」(企画責任者：新保奈穂美) 2018 年 1 月 20 日実施

2016 年度

ワークショップ「若い：「問題」として、「経験」として」（企画責任者：池田昭光）2016 年
12 月 4 日実施

シンポジウム「「毒」のバイオグラフィー：学際的な知の交差を通じて現代世界のフィールド
ドワーク手法を考える」（企画責任者：下田健太郎）2017 年 1 月 21 日実施

これらの企画の詳細については、以下のページをご覧ください。

<http://fieldnet.aa-ken.jp/history>